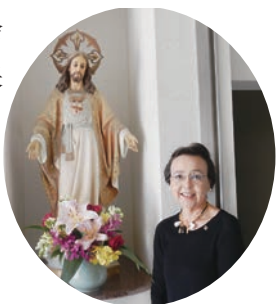


発行所
愛徳学園同窓会
神戸・垂水

会長挨拶



会長
石井トクコ・アイリーニ
(七回生 旧姓ヤング)

変更をさせて頂きました。各
役員負担を少しでも軽減で
きる方向で、同窓会の運営を
進めてまいりたいと考えてお
ります。副会長二名は常任と
し、会長及び執行役員の補佐
役及び相談役を引き受けて頂
きました。新たに広報部を設
け、会報、ホームページの更
新及び学園の広報部との連携
を深める活動にあたって頂き
ます。

又バザーに於いては、衛生
上の理由で、昨年度をもちま
して手作り食品の販売を終了
させて頂きました。長年にわ
たつて、本当にたくさんの方
を込めた手づくり食品をご寄
付頂き、同窓会一同感謝申し
上げます。なお、市販の食品は、
手作り作品、新品の不用品は、
今までどうり販売致します。

なお、本年度より、バザー
作品の値付けの作業におい
て、お手伝いのご協力をお願い
致します。日程のご案内は
後日お知らせいたしますので、
こちらのご協力も宜しく
お願い致します。

今後とも皆様のご協力を頂
きながら、皆様に寄り添え
る同窓会の活動を目指し、役
員一同頑張つてまいります所存で
す。これからも、ますますの
同窓会へのご理解、ご協力よ
ろしくお願いいたします。

Todo por Amor

平昌冬季五輪で幕を開けた
二〇一八年。コンマ数秒、小
数点以下の点差で勝敗が決す
る世界の戦いに挑んだ選手
達。たくさんの方の感動をうみだ
したばかりでなく、現状に満
足しないで前に進む精神力の
強さに、だれしも背中を押さ
れたことと思います。〇〇年
一〇〇年」と言う言葉を耳に
するようになった今、もう一
度私も人生設計を考えなく
は、と、後押しされた次第で
す。



Sr.能美 啓子

「あお葉わか葉に 風かおりて せせらぎに聞く奇しき調べ 木かげに立てる とわのみ母
みもとに行き 我ら憩わん」
(聖歌352番)
カトリック聖歌集の歌です。マリア様の歌を懐しく覚えておられることでしょうか。今年も美しい季節に聖母月が巡ってきました。同窓会の皆様にはお元気で過ごしのことと存じます。この春54回生が卒業し、皆様のお仲間に加えていただきました。同窓生は、3,713名となりました。小学1年12名、2年6名計18名で始まった本学園創立以来64年間の実りでございます。小学生の今年の学校目標は「聴こう 伝えよう 愛徳生の心：さわやかなあいさつ『はい にこ ぱっ』」です。「おはようございます」元気よくさわやかなあいさつで始める学園生活に笑顔があふれます。中・高は「『つなぐ』：Rainbow Programの深化」でございませう。ICT等の学習環境が整った中で様々な学習に取り組んでいます。

進化(深化)し続ける「Rainbow Program」が未来に虹を架ける原動力に

「Rainbow Program」は、自分の将来の夢を完成できるよう導くことを目的とした、本校独自のライフキャリア教育のプログラムです。「Rainbow Program」という名称には、「生徒一人ひとりの未来に虹を架けたい」との思いが込められています。
「Rainbow Program」は、常に進化し続けています。その象徴とも言えるのが、2017年度に始動した独自のグローバル教育です。「Rainbow Program」の実践にあたり設定した「社会で活躍するために必要な7つの力」は、グローバル人材に求められる力でもあります。「すべての人に寄り添い、『共に生きる』グローバル社会に貢献する人材の育成」をコンセプトに掲げ、「英語力」と「キリスト教精神に根ざしたグローバルな視点」を培うための多彩なプログラムを展開していきます。
その中で生徒たちにはまず、「自分らしさ」を見つけてほしいと思います。学園生活は、自分の特性を見つける旅。自分らしさを見つけることは、未来につながる虹の出発点を見つけることになります。次に、その自分を認めることが大切です。キリスト教精神に基づいた理念「すべてを愛によって」を貫く本校で、自分が神様から愛されていることを感じてください。そうすれば、自分と同様に神様から愛される存在として、他者も認められるようになります。それこそが「奉仕」の原点であり、「自ら考え、人に奉仕し、充実した人生を歩む女性」になるための第一歩です。「自分を認めること」は「今を大事にすること」。本校で過ごす1日1日が、女性として成長を遂げるうえでの糧となり、未来に虹を架ける原動力になると信じています。
(中・高等学校案内パンフレットより抜粋)

今年は「つなぐ」をキーワードに人と人、人とモノ、人と組織をつないでいきたいと願っています。少子化と共学志向の中で今年も生徒数が減少しました。皆様方の頃からは考えられない人数だと思います。その中で今まで「つない」で参りました学園の教育を大切にしつつ変わりゆく社会にもきちんと対応し、今の皆様方がそうであるように、「充実した人生を歩む女性」に育てて参ります。同窓生の皆様どうぞ皆様にとって「もう一つの家」である学園に心を「つない」でいただけたらと思います。バザーはもちろんのこと学園祭や体育大会などにもどうぞ足をお運び下さい。そして生き生きとした児童・生徒・教職員の姿をご覧頂き、一人でも多くの方々にお伝え下さるようお願いいたします。

五十四回生 新入会のご挨拶

私達五十四回生五十四名は、この度同窓会に入らせて頂きました。

五十四回生は在学中、先生方から「真面目に、素直に、一生懸命」という学年目標を頂きました。その言葉通り、学年全員が何事にも真面目に、素直に、一生懸命取り組みむことができ、団結力と絆の強い学年です。

分らないことが多く、ご迷惑をおかけするかもしれませんが、精一杯頑張りますので、宜しくお願い致します。



第52回生 新成人 おめでとうございます!



私達五十二回生は一月八日に成人式を迎えました。成人式後、三宮のお店にて同窓会を行いました。あいにくの雨でしたが、振り袖やドレス姿がとても華やかで新鮮な姿で会うことができました。卒業して二年ぶりに同級生や先生方と会い、学園での生活や話や、今の生活などを話ながら学園に通っていた頃を懐かしく感じました。五十二回生全員が揃うことはできませんでしたが、みんなと過ごせた日々が本当に良かったと思える日となりました。



恩師だより



目加田裕子先生

同窓会の係の方から「近況報告」を書くことを依頼されて、あまり意識しなかった退職後のことを考えてみました。退職してからもう十五年もたっていて、愛徳学園で一緒に過ごした、今は同窓会員の皆様も私と同じように十五年の時が流れたんだなあと思うと何とも言えない懐かしい思いがわいてきます。

今、皆様もそれぞれの生活を充実すべく頑張っているらしやることと思えますが、私は、子供も結婚して、家を出ていき、夫と二人で穏やかに暮らしています。ただ今年から後期高齢者の仲間入りをし、頭や体が劣えていく速度が速くなっているのは感じています。息子と娘は結婚してもなかなか子供が生まれず、私は孫と遊ぶことが出来ないのかなと思っていたのですが、六年前に初孫が生まれ今年一月末で孫が四人になって

にぎやかになりました。横浜に住んでいる息子のところに男の子が三人、近くに住んでいる娘に女の子が一人という構成です。どちらも一年の育休をとった後、子供を保育園に入れて、時短などの制度を使って仕事を続けています。特に都会では、働きたくても保育園に入れない人が多くいるので、希望者には全員が入れるようにしてほしいものです。私の孫達は全員、希望の子供園(保育園と幼稚園を一緒にしたもの)に入ることが出来ました。育児と仕事の両立は大変なものです。たとえば、子どもが病気で保育園にいけない時、誰がみるかとか、親にいろいろ事情が出来て定時に迎えにいけなくなったり、だれがいくのか等々、細かいことがいろいろあります。当然、私達夫婦は娘を手伝うことになりました。息子のところは妻の両親が近くに住んでいらつしやるので助けてもらっています。私の場合、孫が四歳になり只今第一次反抗期の真最中で「イヤ期」というそうですが、その対応にはかなり忍耐力もいります。きついと思う時もあり、もう少し若い時であつたらとも思いますが、何よりも孫の成長ぶりを近くで感じることが出来るのは大きな喜

びです。園が計画する行事には、ほとんど参加して、家以外でみせる顔を見るのも楽しみです。「おじいちゃん・おばあちゃん大好き」などと嬉しいことを言ってくれることでもあります。同窓会員のなかにも只今育児中の方もいらつしやると思います。大変なこともありますが、楽しみながら頑張ってくださいね。又、同窓会でお逢いできるのを楽しみにしております。

二十回生クラス会

二十回生 大島 ゆか

平成二十九年のバザーのお手伝いの翌日十一月四日同窓会室を使って、二十回生がクラス会をしました。担任の先生のお変わりない快活さ喜び、各人の卒業後のエピソードに泣き、持ち寄った絶品の料理を楽しみました。次は還暦に再び集うことを誓い合った良い日になりました。



同窓生だより

二十二回生 松田 資子

学園を卒業して三十二年が経ちました。学園で学んだ十二年間、私の成長期の全てがありました。笑ったり、泣いたり、時には腹立しく、そして競ったり、もちろん勉強も。学園で授けていただいた様々な教えが私の根底にあり、愛徳学園同窓生というプライドが存在していると思います。今年度二十二回生の同窓会の幹事を承り先日は、総会に出席いたしました。一



二十三回生クラス会

二十三回生 市榮 鈴子

二〇一七年八月、学園同窓会室にて二十三回生同窓会を開催いたしました。シスター堀井、シスター塩田、小椋先生が参加してくださり、昔話に花が咲きました。卒業して三十年、何もなかった人などおらず、でもお互いそれを受け止め合える友人に恵まれたことに、本当に感謝です。しかしまさか、これがシスター塩田との最後の時間となるとは思ってもみませんでした。。。再会をお約束して、笑顔で手を振っておられた姿を

思い出すと寂しさが押し寄せて参ります。『毎週(木)は卒業生のために祈る日になっていますよ』とおっしゃっておられたシスター。いつか天の国でお会いする日まで、シスター塩田のお言葉を胸に、凜として過ごしていきたいと思います。



回生の先輩から今年同窓会に加わった五十四回生の後輩までの幹事が集い、皆同じ制服を着て学園で学び過ごしたのかと感激しました。総会では、在校生が現在の学園の様子をパワーポイントを使いながら話してくれました。世界で起きている問題について英語でディスカッションをしたり、最新機器を使ってプレゼンを行う授業の映像を見ました。現在女性はどう活躍の場を広げ増やしています。私達の時代に、良妻賢母となるための教えを学んだ学園は、グローバル化の流れの中で、よく考え発言ができる女性に

なれるようにと変わっています。私の双子の娘たちが六十二回生(小学五年生)に在学しています。子の親になり、私の母もこうして毎日お弁当を作って、制服を整えて送り出してきていたのだな。当たり前のように過ごしていましたが、愛情いっぱい育ててくれたのだと感謝の気持ちでいっぱいです。娘たちが日々過ごす学園は、時代は流れても学園の精神、先生方が導いてくださる伝統は揺るぎないものを感じています。現と旧愛徳生の私たち親子

は、折にふれて神様にお祈りし、季節の聖歌を口ずさみます。「気高く 強く 愛深く」娘たちには、私以上の愛徳生になって欲しいと願います。これからも私は楽しみながら子育てを続けていきます。



活躍されている同窓生の紹介コーナー

愛徳学園の素晴らしい先輩と仲間たち

八回生 松野下律子

(旧姓 正木)

結婚を機に神戸を離れ、横浜に住んで三十七年。もう一度神戸に住みたいとの思いで主人の許しを得て、昨年一月から今年の二月までの約一年間、神戸で単身生活を送りました。

神戸に住みたかった理由の一つに、六回生の吉本加津子さん(旧姓池田さん)が理事長を務められるNPO法人「リーフグリーン」で働きたい、という思いがありました。

吉本さんのご活躍は、同期

二十一回生 山田 幸恵

「Hola! ¿Cómo están? 同窓会

の皆様いかがお過ごしですか。二十一回生の山田幸恵です。

私はメキシコのティファナに住んで二十年程になります。ティファナはメキシコ北西部のバハカリフォルニア州の北の端に有り、アメリカのカリフォルニア州サンディエゴと国境を接しています。

気候は穏やかで一年中天気の良い日が多くて過ごし易い町です。

治安はご存知のようにあまり良くはありませんが、人々は陽気でフレンドリー、誰かれと無く話しかけて来ます。"¿De dónde eres? ¿China? ¿Corea?"(ふ

であった姉からも聞いていました。「リーフグリーン」は阪神・淡路大震災のボランティア救援基地になっていた「たかとり教会」の敷地内にあり、震災ボランティアの方たちが帰られた後

も、困っておられる方のためにと立ち上げられた法人です。子供も大人も、高齢者も障害のある方も、皆が支え合う社会を実現するために、介護をはじめ様々なサービスを提供していましたが、私も一年間という期限付きもあり、職員の皆様のご理解もあり、受け入れていただきました。

吉本さんはお忙しい時もいつ

ここから来たの? 中国? 韓国?)

「Soy de Japon. (日本人です) 」

「Oh Japon! (おー! 日本人!) 」と即座に大粒の目を更にまん丸くして笑顔になります。



も穏やかで、大変なお仕事も率先して動かれ、本当に頭が下がります。そして何より利用者の方のお気持ちに寄り添い、心を込めて温かく接していらっしやいます。

「リーフグリーン」で働く二十人位の方々の中には愛徳の卒業生が五人もいます。事業所内にある保育ルームに二歳の子どもを預けて働いている後輩の方もいます。事業所は吉本さんのお人柄が漂っていて、とても優しい雰囲気になっていて、一年間、吉本さんのもとので働かせていただけたことに感謝

メキシコは親日家

が多く、日本の技術

や文化は大人気で、特に若者は日本のアニメの影響から日本語を学ぼうとする人が多いです。かく言う私も、日系人協会の日本語学校で教師をして

おります。好奇心旺盛なこちらの若者から学ぶ事も多く、また、少しでも人のお役に立てているのを感じて、感謝の気持ちと日本人である事の誇りを感じる毎日です。

卒業生の皆様の中でこのような活動や「リーフグリーン」に関心を持たれた方はぜひ吉本さんに連絡してみてください。連絡先は「リーフグリーン」のホームページに掲載されています。神戸での単身生活は愛徳の友人たちにも支えられて無事に過ごすことができ、充実した毎日となりました。良き先輩・後輩・友人に恵まれ、愛徳学園の卒業生で良かったとあらためて思った一年でもありました。



関東地区愛徳学園同窓生親睦会

代表：四回生 岡本真知子(旧姓 田中)

東京都小平市上水本町6-3-21

☎(042)324-1186

関東地区では二年毎に東京周辺にお住まいの同窓生の親睦会が開催されています。今回は来年の予定です。現在の所、関東在住同窓生の数などが把握されておりませんので、皆様にお知らせを送る事ができない状況です。詳細につきましては右記の代表、四回生岡本真知子さんまでご連絡をお願い致します。

関東地区同窓会便り

昨年の十一月に第十八回関東地区同窓会を霞が関ビル三十五階レストランにて開催しました。シスター堀井、シスター三好、シスター塚部が元気なお姿を見せて下さいました。出席者二十一名が回生を超えた和気あいあいとした雰囲気の中、お食事やお喋りに花を咲かせ楽しいひと時を過ごしました。

関東地区では、二年に一度このような楽しい同窓会が開催されています。できるだけ多くの方に参加いただきたいのですが関東にお住まいの方全員の住所を把握するのは困難な状況にあります。既にお住まいでまだ案内が届いていない方、新たに転入される方はお手数ですが、関東地区同窓会を盛り上げるためにご協力お願いします。次回は来年開催の予定で幹事は四回生が担当します。

〈第十八回関東地区同窓会三回生幹事一同〉



なつかしの写真コーナー

9
回生



21
回生





アメリカ基金

同窓会では、例年学園バザーの収益金の一部を愛徳カルメル会を通して、ヴェドゥルナ財団に寄付させていただいております。ヴェドゥルナ財団では、長年にわたって「お腹を空かせた子供達への食事や、安全なシェルター

の提供、身寄りのない人々のお世話をする」などの活動資金に加えて、有効に使っているとこのことで、大変感謝されております。平成29年度は、バザー収益金と有志からの寄付で10万円寄付させていただきました。

寄付金は学園を通してヴェドゥルナ財団へ贈られております。お礼のお手紙は届いておりませんが、校長様より確かに贈りましたとお言葉をいただいております。



マザーテレサの言葉

大きなことをする必要はありません。
小さなことに大きな愛を込めればいいのです。

聖女 ホアキナの言葉

神様の愛はいつも見出せます。
常に変わらぬものを探しましょう。



ありし日のSr.アメリカ

バザー

平成29年度バザー会計報告

(円)

	収入	支出	残高
物品売上	334,642		
飲料仕入		5,273	
亀井堂仕入れ		68,256	
振込料		0	
材料費		0	
会議費その他		59,234	
合計	334,642	132,763	201,879

平成29年度バザー収支使途内容報告

(円)

	収入	支出	残高
バザー収益	201,879		
アメリカ基金		80,000	
学園へ寄付		100,000	
合計	201,879	180,000	21,879

残金 21,879円は同窓会会計に入金いたしました。

上記の通り収支報告致します。

なお、アメリカ基金は有志からのご寄付2万円を加えて10万円とし、ご寄付いたしました。

平成29年11月3日

愛徳学園同窓会 会長 石井トクコ・アイリーニ
会計 薮口 佳子

昨年11月3日に行なわれたバザーは皆様のご協力により、楽しく無事に終える事ができました。ありがとうございました。

毎年のことですが、ていねいに仕上げられた手芸品やトートバッグなどがよく売れました。お家で眠っている新品の不要品などございましたら、ご寄付をお願いしたいのですが、今年からは食品衛生上手作りの食品は売ることができなくなりました。いつも手作りのお菓子、ふりかけなど、好評でしたが残念です。レトルト食品や缶詰類(賞味期限の十分にあるもの)は売ることができますので、よろしくお願い致します。

今年は奇数回生を中心にバザー当日お手伝いをお願いしたいと思っておりますが、バザー前日(11月2日)のお手伝いを偶数回生にお願いしたいと思います。(物品の値段付け、整理など)

バザー当日は、同窓生の皆様、お友だちをお誘い合わせの上、なつかしい学園にいらっしゃいませんか。お待ちしております。

今年度のバザーは平成30年11月3日(土)に開催します。



